

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	夜間の高速道路走行中に、地震でできた段差に気がつくのが遅れ、車両がバウンドし天井に頭を軽く打った。
3. 体験した事例の中心的要素	県隊の先行隊として、車両3台の最後尾を走行しており、前方の状況把握が十分でなかった。また、放射線検知活動中であり、助手席の隊員は検知資機材を操作中であった。日ごろ運転しているポンプ車であれば、通常に減速できていたが、今回の派遣で初めて運行した燃料補給車であったため、減速に慎重になり、十分な減速ができずに段差に進入した。機関員の「段差」の声に助手席同乗者もある程度身構えることができたが、結果として頭部を車両天井にぶつけた。
4. 体験した事例の原因・理由	約1,200kmほど走行しており、自車の特殊性(燃料補給車:通称ミニローリー)に対する注意力(早い位置からの減速)が鈍っていた。助手席隊員は、放射線測定を操作中であった。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。 状況判断に問題があった。
------------------	------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成23年3月16日 午後6時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外：高速道路上
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。 回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	激突
7. 事例体験時の活動	その他:、[] []
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：移動中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[36]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[7] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [初めて]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 []、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 []、任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

[illegible]

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者B	放射線検知活動を実施中	当事者Bは安全管理者(助手席)
経過2	当事者A	高速道路を走行中に道路の段差を確認	当事者Aは、機関員
経過3	当事者A	減速を開始したが、間に合わない可能性が考えられたことから、「段差」の注意喚起	
経過4	当事者B	検知活動を中断し身構える	
経過5	当事者A・B	段差通過中に、頭を天井で打つ	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ
b. 注意力が欠如していた	
・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

